

青森県現代俳句協会会報

平成29年度青森県現代俳句協会総会のあらまし

本会の総会は平成29年5月14日(日)10時30分から青森市文化会館において開催しました。開催に当たり泉会長からあいさつがあり、引き続き会長が議長となつて会議を進行了しました。第1号議案は28年度の事業報告として、役員会、総会、第9回青い森県民俳句大会、年鑑発行、現代俳句東北大会(仙台市)、秋の吟行互選俳句大会について千葉事務局長から説明があった。引き続き関連があることから第2号議案28年度収支決算について説明があった。次いで議長から監査報告が求められ、田中監事から適正であることの報告があった。このあと、1号議案と2号議案について質問がなかつ承された。第3号議案29年度事業計画(案)と第4号議案29年度収支予算(案)は関連があることから引き続き説明があった。このあと質問がなかつ承された。

その他の議案として、案の1は青森県現代俳句協会年鑑賞の設立について説明があり、諮ったところ顧問を選者とするのことに對して、一部

28年度収支決算	
収入	476,171 円
支出	399,648 円
次年度繰越金	76,523 円
29年度収支予算	
収入	446,600 円
支出	446,600 円
現代俳句東北大会準備金	
	128,871 円

質問があつたが、会長一任で了承された。案の2として、青い森県民俳句大会における投句料について、児童生徒及び学生は投句料を無料とすることを説明したところ、異議なしで了承された。案の3として、徳才子氏の顧問復帰を諮つたところ、異議なしで了承された。



総会で泉会長あいさつ

第10回青い森県民俳句大会のあらまし

平成29年5月14日(日)12時から青森市文化会館4階中会議室において開催しました。

お陰様でこれまでで最多の177名の投句者があり盛会に終了することができました。来年は第11回目というさらなる飛躍のための大会になりますので、会員の皆様には本人はもちろんですが、知人、友人をもお誘い合わせのうえ、ご参加くださるようお願いいたします。大会の結果は次のとおりです。

- ①知事賞・畑中月穂(むつ市)、②県議会議長賞・飯田知克(むつ市)、③青森市長賞・櫛引麗子(五所川原市)、④青森市議会議長賞・対馬智恵子(青森市)、⑤東奥日報社長賞・松宮梗子(五

- 所川原市)、⑥陸奥新報社長賞・木村秋湖(青森市)、⑦デーリー東北社長賞・山口 彰(青森市)、⑧金田一子(大間町)、⑨鎌田美正子(弘前市)、⑩明才地禮子(青森市)、⑪森下睦子(五所川原市)、⑫福井千恵子(青森市)、⑬井手上省子(むつ市)、⑭坂本幽弦(弘前市)、⑮泉風信子(弘前市)

- ・兼題賞…高屋敷いと女(階上町)
- ・席題賞…対馬智恵子



席題講評の様子

会員へのお願い!

協会の発展と活性化のために、会員の増加が不可欠になります。友人や知人でまだ本協会に未加入の方がいましたら、お誘いください。入会申込は事務局まで連絡ください。

発行所 青森県現代俳句協会
発行人 泉 風信子

〒036-1824 弘前市桜ヶ丘一丁目8-11

兼題高点句

作品A

消しごむのまん丸くなり卒業す
春愁を硯の海へすりおろす
五能線りんごの花に傾ぎ行く
おらが村鳥居に鬼のゐてのどか
蛇穴を出て腥き風となり
春日傘秘密の小部屋たたみけり
禅問答繰り返すやう春の潮

高屋敷いと女
櫛引 麗子
畑中 月穂
森下 睦子
田端 千鼓
牧 ひろし
榊 せい子

作品B

この世ともつかず桜の中に座す
耕人のつひに夕陽に溶け込みぬ
春泥を共に来し靴洗ひけり
春雷の走り糶場の魚跳ねる
表札は祖父の名のままつばめ来る
若駒は軍馬の裔か眼の聡き
木の芽風児等の両手はつばさなり
煌めきの束となりたる春の川
席題成績(佳作は省略)

稲部天津子
川村亜輝子
松宮 梗子
金田 一子
飯田 知克
沼山 虹雨
明才地禮子
木村あさ子

天

「緑陰」木村 秋湖 選

高橋千夜湖

地

緑陰にけふは聞き役つかまつる

安田真知子

人

緑陰や黒人霊歌の何処より

坂本 幽弦

秀逸

緑陰や苔の衣の磨崖仏
桂月の墓の標や緑陰に
緑陰のラジオと犬と赤ん坊
緑陰に若き父振る補乳瓶
緑陰を抜けひろびろと湖ひらけ

福井千恵子
佐々木敦子
山口 彰
田辺 佳子
山本もとい

天

「緑陰」泉 風信子 選

対馬智恵子

地

緑陰を奪はれし町川光る

田中 三桃

人

緑陰や電源OFFの顔惚け

櫛引 麗子

人

緑陰に巖崩るるごとく牛

櫛引 麗子

秀逸

緑陰や児の手の遊ぶ乳母車
緑陰を田の海へおとしけり
緑陰や会ふ度言葉増ゆる嬰
緑陰にびたりと停る盲導犬
緑陰や化粧崩れの妻匂ひ

畑中 月穂
後藤 岑生
千葉 禮子
大澤 映城
鎌田美 正子

天

「遠足」齊藤 泥雪 選

くどうひろこ

地

ポニー牧場羽根の生えたる遠足児

福井千恵子

人

遠足のバス歌声に膨らみて

井手上省子

秀逸

遠足のおやつに迷ふ五百円
遠足の列お地藏に崩れけり
遠足の集合写真が息をする
遊ばれて遠足教師にこやかに
遠足の子に囲まるる迷ひ猫
遠足や短軀の教師しんがりに

畑中 月穂
泉 風信子
山口 彰
中村し おん
松宮 梗子

天

「遠足」橘川まもる 選

小野 寿子

地

遠足の列やがては鳥の羽根のやう

田村 正義

人

海見えて鳥のごと散る遠足子

木村 秋湖

秀逸

遠足や波追ひかけてずぶぬれに
遠足の集合写真が息をする
遠足の子等に応へし餌かな
よき日和よき風ありて遠足日
遠足のしんがりの子たくましき

金田一子
泉 風信子
高橋千夜湖
福士 信之
山本もとい

天

「蟹」坂本 幽弦 選

坂本 吟遊

地

絵の中の蟹筆跡ごと海の中

小野 いるま

人

賜はりし晩年蟹とたはむれて

人

蟹を追ふ子を追ふ父のずぶ濡れに

飯田 知克

秀逸

潮錆びの喉でじよんから蟹を採る
反骨の手脚たゝまれ蟹煮上がる
川蟹と歩く原爆ドームまで
蟹と居て啄木の歌くちざさむ
岩木川の蟹の記憶に祖父がゐる

稲場 暁子
浅利 康衛
対馬智恵子
大瀬 響史
森下 睦子

天

「蟹」大瀬 響史 選

小野 寿子

地

蟹の泡自己主張ともいかりとも

千葉 禮子

人

ぐだめぎは何のことかや蟹の泡
世の鬱に蟹の目ン玉なほでばる
亡国の原発事故や蟹怒る
川蟹と歩く原爆ドームまで
ざり蟹の沢跳び越へて分校へ
法事終へて蟹にむしゃぶりついてゐる
沢蟹を拉致しておるる岩木山

石田かつら
桜庭 恵
対馬智恵子
齊藤 君子
高松 遊絲
鎌田美 正子

青森県俳句懇話会大会のあらまし

県俳句懇話会の俳句大会が平成29年5月28日(日)12時から青森市文化会館で開催されました。その結果を本協会員だけについてお知らせします。

○総合順位…2位・泉 風信子、6位・牧 ひろし、12位・川村 英幸、15位・佐藤いく子

○兼題高点句・作品A

村上春樹開きしままの春炬燵
君が代の男のピアス昭和の日
バス待てば春やわらかく津軽富士
村の名が市となる戸籍路のたう

作品B

囀りの一瞬止みぬ奥の院

佐藤いく子
川村 英幸
木村 匡
成田みどり